

# 2024年度実需給に向けた準備状況

(容量確保契約容量・金額の更新、容量拠出金算定の情報提供、  
参加者テストを踏まえた対応)

2024年3月28日

容量市場の在り方等に関する検討会事務局※

1. はじめに
2. 2024年度の契約容量、容量確保契約金額について
3. 容量拠出金の算定に関する情報提供について
4. 容量市場システムの参加者テストを踏まえた対応について
5. 実需給年度に向けた情報提供について

- 容量市場の2024年度の実需給期間にあたり、**現時点の契約容量、容量確保契約金額**を確認したので、これを報告する。
- また、上記の金額にあわせた**容量拠出金の算定情報**も更新して報告する。
- 容量拠出金については、2024年度の実際の算定開始の前に、各小売電気事業等の参考情報を提供することを目的として、先般12月に**2023年度の上期実績**を用いて**模擬的な年間総額となる仮請求額の通知**を実施した。実績確定にタイムラグがあるため、引き続きで同じ方法がとれないものの、**2023年度下期実績による情報提供**が何らかの形でできないかについて、検討を行っている。
- この仮請求額通知の取り組みによる**事業者とのやり取りでよくいただいた質問**等は、**事業者向け説明会資料へ反映**し、この**3月や4月にも容量拠出金説明会**を行うことを予定している。
- 発電事業者等には、2月に**容量市場システムを用いた運用のテスト**を行ったところであり、運用上の気づきを踏まえたポイントをまとめ、**実務担当者向け資料のアップデートや説明会**を予定している。
- **容量市場システムの実需給期間向け機能**を利用した**業務運用の開始を4月1日に予定**しており、**3月21日に一部機能の先行利用を開始**した。
- なお、実需給期間に向けた、事業者向けの**マニュアルや説明会資料**は、これまで**更新しつつ提供**を行っているため、あらためて**どのような資料が提供されているか**、整理して説明を行う。

## 2. 2024年度の契約容量、容量確保契約金額について

### ①2024年3月時点の契約容量、容量確保契約金額（2024年3月8日時点の見込み）

- 容量市場では、オークションの開催後も、定期的に毎年度の契約容量と金額の最新情報の提供を行っており、今回、2024年度直前のタイミングの情報として、2024年度分の数値を算定した。

#### <2024年度の容量契約容量（2024.3.8現在）>

	契約締結総容量		契約締結総額（経過措置控除後）	
		差分※		差分※
全国	163,253,264 kW	▲444万kW	1,555,438,919,152 円	▲約433億円

エリア	エリア毎の契約締結総容量		エリア毎の契約締結総額（経過措置控除後）	
		差分※		差分※
北海道	5,259,182 kW	▲67.2 万kW	49,734,036,685 円	▲56.9 億円
東北	17,491,346 kW	▲16.1 万kW	169,901,689,236 円	▲21.6 億円
東京	51,410,260 kW	▲157.1 万kW	519,474,752,572 円	▲144.8 億円
中部	24,693,798 kW	▲58.3 万kW	233,656,590,466 円	▲62.4 億円
北陸	4,771,774 kW	▲70.1 万kW	42,180,877,914 円	▲59.8 億円
関西	28,055,303 kW	▲28.8 万kW	260,842,988,645 円	▲28.2 億円
中国	7,526,437 kW	▲13.2 万kW	64,385,411,430 円	▲17.8 億円
四国	6,951,254 kW	▲6.7 万kW	62,286,632,410 円	▲9.0 億円
九州	17,093,910 kW	▲26.4 万kW	152,975,939,794 円	▲32.4 億円

※ 差分は容量市場メインオークション約定結果の「約定総容量、約定総額」との差を示す。端数処理の関係で合計が合わないことがある（本スライドの金額はいずれも税抜金額）

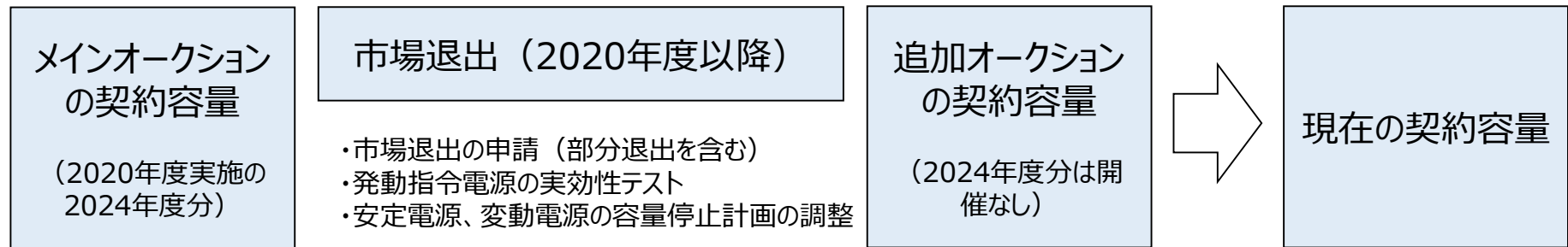
## 2. 2024年度の契約容量、容量確保契約金額について

### ②2020年度のメインオークション以降の状況変化

- 2024年度分契約容量の減少は、約定結果の公表時より約444万kWとなった。
  - 発動指令電源について、2024年度分の容量に関して、電源等リストの未提出や2022年度に夏季・冬季の実効性テスト※が実施された（約103万kW減少）。
  - 安定電源や変動電源について、2024年度分の契約容量に関する市場退出や、差替が反映されている（約341万減少）。なお、実需給2年度前の容量停止計画調整（定期補修等）が2022年度に実施され、2024年度分の契約容量の下方修正はなかった。
- 2024年度分は追加オークションの開催が無かったため、契約量が増加する変化は無かった。

※メインオークションでは、発動指令電源は、4年前の時点の想定をもとにビジネスプランを提出して応札を行い、実需給2年度前に実効性テストを行い、契約容量の確定を行う

<状況変化の時系列イメージ>



## 2. 2024年度の契約容量、容量確保契約金額について

### ③（参考）市場退出容量の内訳（2024年3月8日時点の見込み）

■ 実需給2024年度分の市場退出容量の内訳（2024年3月8日時点）は以下であった。

- ▶ 安定電源や変動電源の市場退出容量は、2020年のメインオークション時点の契約容量（約1億6770万kW）に対して、約341万kWであった。
- ▶ また、発動指令電源の市場退出容量は、約103万kWであった。
- ▶ それらを合計すると、実需給2024年度分の市場退出容量は、現時点で約444万kWであった。

<市場退出の見込み容量（対象実需給年度：2024年度分）>

単位：万kW

区分	メインオークション時点の契約容量	市場退出見込み容量	市場退出を反映した契約容量	（参考）退出割合
安定電源 変動電源	16,354	▲341	16,013	2.1%
発動指令電源	415	▲103	312	24.8%
合計	16,769	▲444	16,325	2.6%

<発動指令電源の実効性テストの反映状況（対象実需給年度：2024年度分）>

単位：万kW

①メインオークション 約定容量	②減少容量		減少を反映した 契約容量（①-②）
415	電源等リスト未提出	▲12	▲103 (24.8%)
	実効性テストの未達容量	▲91	
			312

## 2. 2024年度の契約容量、容量確保契約金額について

### ③2024年3月時点のエリア毎の容量拠出金（2024年3月8日時点の見込み）

- 現時点の容量確保契約金額の算定をもとに、容量拠出金（試算）の算定を行った。
- メインオークションの約定結果の公表時点の算定（1兆5,987億円）に対し、発動指令電源の実効性テスト等の市場退出を反映し、現在の算定は1兆5,554億円となった。

#### <2024年度のエリア毎の容量拠出金（2024.3.8現在）>

（四捨五入の関係で合計が合わないことがある）  
（本スライドの金額はいずれも税抜金額）

エリア	容量拠出金（試算）	
	一般送配電事業者	小売電気事業者
全国計	1,336.9 億円	14,217.5 億円
北海道	42.3 億円	449.4 億円
東北	114.5 億円	1,217.1 億円
東京	449.1 億円	4,776.4 億円
中部	207.0 億円	2,201.0 億円
北陸	41.6 億円	442.9 億円
関西	223.4 億円	2,376.0 億円
中国	88.3 億円	939.2 億円
四国	41.6 億円	442.9 億円
九州	129.1 億円	1,372.6 億円

### 3. 容量拠出金の算定に関する情報提供について

#### ①12月に実施した仮請求額通知の概要（2023年度上期実績による算定）

- **容量拠出金の取引が2024年7月から開始される準備の一環**として、あらかじめ請求額のイメージや、請求のやりとり手順の確認も行っておくことを主旨として、**2023年12月に仮請求額の通知**を行った。
- 小売電気事業者や一般送配電事業者の各社からは、**実際に通知を確認した気づきなどを問合せやご意見等**としていただいた。（・・・例えば、「取引金額は税込/税抜のどちらであるか」、「会員情報管理システムによる通知のアクセス方法」、「算定諸元に関する質問」等の内容が多かった）
- 気づきやご意見等は、よくある問合せとして参考とさせていただき、**容量拠出金の説明会資料へ反映**を進めていく。



- 容量拠出金の疑似的な仮算定※を2023年12月に実施するにあたり、広域機関の会員情報システムを通じて、小売電気事業者や一般送配電事業者へ仮請求額通知書（年間総額）を発行した。

※容量拠出金の本算定は、実需給前年度の夏季冬季実績や実需給当月実績を用いるが、実需給2024年度向けの仮算定は疑似的な方法として2023年度の夏季ピーク時電力kWの実績を用いて実施

## 2. 容量拠出金の仮請求額の通知

### ① 仮請求額通知の実施内容

3

第52回容量市場の在り方等に関する検討会資料より

- 昨年12月18日に、容量拠出金に係る仮請求額通知書（年間総額）の通知を行った。
- 具体的には、事業者毎に2023年度の夏季ピーク時kW実績のみで疑似的な仮算定※を実施し、2024年度の容量拠出金の概算の参考値として情報を提供。
- 通知は、本機関に登録している全事業者が利用している会員情報管理システムを通じて実施。
- 今回発行対象となった事業者594者に対して通知。

※当該仮請求額通知書の容量拠出金の概算の参考値は、2023年度の夏季（7-9月）ピーク時の電力kWを基礎として算定するため、2023年度の冬季（12-2月）ピーク時の電力kWおよび2024年度の各月のシェア変動を考慮する前の概算金額となります。

第51回容量市場の在り方等に関する検討会資料より

2. 容量拠出金の仮請求額の通知

① 仮請求額通知書の発行

- 実需給期間に向けた事前の情報提供の試みとして、12月に容量拠出金の「仮請求額通知書（年間総額）」の通知を行うことを予定している。
- 具体的には、事業者毎に2023年度の夏季kW実績のみで疑似的な仮算定※を実施し、2024年度の容量拠出金の概算の参考値として情報を提供する。
- 通知は、本機関に登録している全事業者が利用している会員情報管理システムを通じて行われる。

内容	通知時期
仮請求額通知書発行（年間総額）	2023年12月
請求額通知書発行（月次：2024年4月分）	2024年6月
請求額発行（月次：2024年4月分）	2024年7月
請求額通知書発行（月次：2024年5月分）	2024年7月
請求書発行（月次：2024年5月分）	2024年8月

→ 今回、参考値として通知を実施

→ 実際の請求額月次で通知

2. 容量拠出金の仮請求額の通知

③ 今回の「仮請求額」の算定方法

- 今回通知を行う仮請求額は、現時点で確認可能な諸元を用いて事業者毎の想定金額をお伝えする。
- シェア変動による補正を含まない想定金額となり、実際の請求額と算定条件が異なることや、今回の通知は年間総額であること等、注意点を伝えながら通知を行っています。

今回の仮請求額の算定方法：小売電気事業者Xの容量拠出金

$$\text{Xの2023年度の夏季ピーク時の供給電力実績 (kW) の合計} \times \text{2023年度の11/FACにおける小売電気事業者Xの夏季ピーク時の供給電力実績 (kW) の合計}$$

実際の実需給期間の算定方法：小売電気事業者Xの容量拠出金

$$\text{Xの2023年度の11/FACにおける小売電気事業者Xの夏季ピーク時の供給電力実績 (kW) の合計} \times \text{2023年度の11/FACにおける小売電気事業者の夏季ピーク時の供給電力実績 (kW) の合計}$$

※ 算定式：7月～9月・8月～9月・8月～9月（送配電事業者別）参照 | 冬季～2月・12月～2月・12月～2月（送配電事業者別）参照

容量拠出金 仮請求額通知書（年間総額）

通知番号：123456789012345678  
 通知日：2023年12月18日

電力広域機関東京支店  
 〒120-0001 東京都目黒区目黒2-15  
 03-5727-8990  
 E-Mail: >>> @hokoku.jp

貴事業者の仮請求額通知書（年間総額）

項目	金額
2023年度夏季ピーク時電力実績 (kW) の合計	123,456,789,012,345
2023年度11/FACにおける小売電気事業者Xの夏季ピーク時の供給電力実績 (kW) の合計	123,456,789,012,345
仮請求額 (年間総額)	15,428,391,812,345

※ 算定式：7月～9月・8月～9月・8月～9月（送配電事業者別）参照 | 冬季～2月・12月～2月・12月～2月（送配電事業者別）参照

- 2023年12月に行った仮請求額通知書の**送付対象の事業者は594者**であった。
- 仮請求額通知書の発信にあわせて、専用窓口の電話やメールアドレスを設けて**通知の開封方法等を対応**するとともに、今回の通知の発信後に、**未開封状況の事業者には架電による確認**も行った。

## 2. 容量拠出金の仮請求額の通知

### ③仮請求額通知後の対応および事業者の通知書確認状況

5

第52回容量市場の在り方等に関する検討会資料より

- 「容量拠出金 仮請求額通知書 (年間総額)」の通知後、開封状況を確認させていただき、**通知書が未開封状況の事業者に対して、架電によるフォロー**を実施。
- 今回、実需給期間に向けて、**専用窓口の電話・メールアドレスを開設**し、仮請求額通知書に関する事業者からの問い合わせに対応。
- 1月14日時点で、**対象594事業者中564事業者 (約95%)に通知書を確認**いただいている。
- 引き続き、通知書が未開封状況の事業者に対して、**架電によるフォローを継続**していく。



#### 仮請求額通知書 確認状況 (1月14日時点)

確認済	564者
未確認	30者※
合計	594者

※30者の内、仮請求総額≠0[円]の事業者は17者

#### 専用窓口 問い合わせ件数 (1月11日時点)

電話	53者66件
メール	39者49件

本機関HP、通知書にて問い合わせ窓口の電話番号・メールアドレスを周知

### 3. 容量拠出金の算定に関する情報提供について

#### ②2023年度下期の諸元情報の提供について

- 2023年12月の仮請求額通知を行った際に、**各事業者で容量拠出金の想定等を行うための、算定の諸元情報**として、2023年度の夏季（7-9月）ピーク時電力kWを広域機関HPにて提供した。
- 各エリアの夏季や冬季のピーク時電力kWの実績は、**自社の電力kW実績と比較**することでシェアを確認し、容量拠出金の金額の目安を想定することも可能なため、まだ実績が確定していない段階ではあるものの、事業者から問合せもいただいている。
- そのため、**2023年度下期の諸元情報**として、エリア毎の冬季（12-2月）ピーク時電力kW実績を、前回12月のフォーマットの形で、**2024年5月頃に広域機関のHPにて情報提供**を予定している。
- また、容量拠出金説明会の資料においても、算定諸元の提供状況などを周知していく。

<2023年12月の諸元情報の提供イメージ（2023年度夏季ピーク時電力kW実績にてイメージ作成）>

エリア	最大需要発生日時(7月)	最大需要発生日時(8月)	最大需要発生日時(9月)	ピーク時電力kW合計実績 (全小売電気事業者)	ひと月あたりのkW平均実績 (全小売電気事業者)
北海道	2023/07/28 (11:00~12:00)	2023/08/25 (11:00~12:00)	2023/09/01 (10:00~11:00)	12,789,864 kW	4,263,288 kW
東北	2023/07/28 (13:00~14:00)	2023/08/23 (14:00~15:00)	2023/09/01 (13:00~14:00)	40,679,387 kW	13,559,796 kW
東京	2023/07/18 (14:00~15:00)	2023/08/04 (13:00~14:00)	2023/09/05 (14:00~15:00)	156,412,803 kW	52,137,601 kW
中部	2023/07/18 (14:00~15:00)	2023/08/21 (14:00~15:00)	2023/09/05 (14:00~15:00)	71,625,171 kW	23,875,057 kW
北陸	2023/07/28 (13:00~14:00)	2023/08/03 (14:00~15:00)	2023/09/04 (14:00~15:00)	14,168,197 kW	4,722,732 kW
関西	2023/07/27 (14:00~15:00)	2023/08/21 (13:00~14:00)	2023/09/04 (13:00~14:00)	78,447,395 kW	26,149,132 kW
中国	2023/07/28 (15:00~16:00)	2023/08/03 (13:00~14:00)	2023/09/04 (13:00~14:00)	29,077,219 kW	9,692,406 kW
四国	2023/07/27 (13:00~14:00)	2023/08/21 (13:00~14:00)	2023/09/04 (13:00~14:00)	13,723,085 kW	4,574,362 kW
九州	2023/07/27 (14:00~15:00)	2023/08/21 (14:00~15:00)	2023/09/04 (15:00~16:00)	44,653,320 kW	14,884,440 kW

### 3. 容量拋出金の算定に関する情報提供について

#### ③容量拋出金説明会の予定

- 第4回の容量拋出金説明会は、容量拋出金の実務的な情報提供を加えて、3月下旬に開催した。
- 2023年度の容量拋出金説明会は、第3回までにのべ約1,000名に参加いただき、第4回では350名ほどの参加申込をいただいた。
- 2024年度は、実需給期間に向けた情報提供を加えながら、4月下旬に実需給年度第1回の開催を予定している。

#### <容量拋出金関連の説明会等のスケジュール>

項目	時期	主な内容や予定
容量拋出金説明会（第1回目）	6月27日,29日	・容量拋出金の概要/算定方法、概算シミュレーションについて ・容量拋出金の取引の性質や税務処理について
容量拋出金 実務説明会	8月29日,31日	・容量拋出金に係る帳票確認方法などの実務について
容量拋出金説明会（第2回目）	9月26日,28日	・第1回(6月開催)の内容と、更新内容（8月実務説明会の内容含む）
容量市場の概要説明会 東京以外での開催	11月29日,30日 12月4日,6日	・容量市場の制度概要と、容量拋出金、実需給期間のリクワイアメント等の説明会を対面で実施
容量拋出金説明会（第3回目）	12月5日,7日	・仮請求額通知書の発行内容を説明 ・第2回（9月開催）の内容と、それ以降の更新内容
容量拋出金 仮請求額 通知書（年間総額）の発行	12月18日	・実需給2024年度の容量拋出金仮請求額（年間総額）を発行
容量拋出金説明会（第4回目）	3月26日,28日	(予定)・インボイス制度に係る対応の再周知、入金口座情報、託送契約電力kWの扱い、事業者登録内容変更時の対応、など
容量拋出金説明会 (2024年度第1回目)	4月下旬 (予定)	(予定)・第4回（3月開催）の内容と、それ以降の更新内容

## 4. 容量市場システムの参加者テストを踏まえた対応について

### ①容量市場システムの参加者テストの概要（2024年2月実施）

- 2月実施した**参加者テスト**は、容量提供事業者（対象実需給年度：2024年度）を対象に、**容量市場システム**（実需給期間向け機能）を**先行的に利用**し、アセスメント算定諸元登録、アセスメント結果/経済的ペナルティ額・容量確保契約金額等の帳票確認など、4月と5月分を想定した**一連の業務プロセスを模擬的に実施**し、**約70事業者**に参加いただいた。
- 参加者テスト**実施後にアンケートを受付**し、参加者テスト全般・期間、説明会、業務マニュアル、システムマニュアル、システム操作など複数の項目でご意見をいただいた。
- ご意見内容について、**各種マニュアルや実務説明資料の参考**とさせていただき、3月末～4月上旬を目途に**更新版の公表**を予定している。

項目	いただいた主なご意見
参加者テストの全体評価・期間について	<ul style="list-style-type: none"><li>・実需給向けシステムを操作し、セキュリティ上の問題なども含め確認・対応できた点は意味があったが、テスト期間が短く課題などが残った。</li><li>・4月分の作業で課題が見つかり、5月分の作業で修正したが別の課題がまた見つかり、もう数か月程度の期間を対象としていただきたかった。</li></ul>
参加者テスト説明会について	説明会資料はわかり易いよう工夫されていたが、テスト環境下における前提条件に伴う制約が複雑であったことと、説明会で十分理解できる内容ではなかった。
業務マニュアルについて	<ul style="list-style-type: none"><li>・マニュアル手順通りに進むことで理解でき良いが、資料が多く、全部理解するには難しいと感じた。</li><li>・マニュアルのみでは全体像の把握が難しいと感じた。意見募集の回答や事業者説明会資料があって具体的な運用がイメージできた。</li></ul>
システムマニュアルについて	<ul style="list-style-type: none"><li>・マニュアルを追いながらシステム操作を行ったが、多少誤りは出ながらも何とか操作できた状況。</li><li>・マニュアル数が多く、理解・把握するのに時間が掛かった。</li></ul>



## 4. 容量市場システムの参加者テストを踏まえた対応について

### ②リクワイアメントやアセスメントに係る業務等の状況と今後の予定

- 実需給期間の「リクワイアメント・アセスメント・ペナルティ」や「請求・交付」の業務について、**容量市場システムの実需給期間向け機能を利用した業務運用の開始を4月1日に予定**している。それに先立ち、容量停止計画の確認・修正に対応するため**一部機能の先行利用開始**と、**容量市場システムマニュアルの実需給期間向け機能部分の公表**を3月21日に行った。
- また、2024年度の実需給期間の業務開始前の時期を考慮した**実務説明会の開催を4月下旬**に予定している。日程等については詳細が決まり次第HP等でご案内する。

#### <リクワイアメント関連のマニュアル公表・説明会等のスケジュール>

項目	時期	主な内容や予定
業務マニュアル(案)意見募集	8月10日～9月8日	・リクワイアメント/ペナルティ・容量確保契約金額の実務に係る業務マニュアル(案)の意見募集の実施
実務説明会（第1回目）	8月29日,31日	・リクワイアメント/ペナルティ・容量確保契約金額の実務に係る実務説明会の実施
業務マニュアル 策定・公表	11月29日	・リクワイアメントの実務に係る業務マニュアルの公表
実務説明会（第2回目）	1月18日,19日	・これまでの質疑、業務マニュアルの意見募集をもとに、第1回目の説明資料を更新
参加者テスト説明会	1月18日,19日	・2月の参加者テスト実施内容の説明
参加者テスト	2月1日～22日	・容量市場システム追加機能事業者参加型テスト実施
容量市場システムの先行利用開始、マニュアルの公表	3月21日	・容量市場システム（実需給期間向け機能）の一部機能の先行利用開始、容量市場システムマニュアル（実需給期間向け機能）の公表
業務マニュアル・実務説明資料更新版の公表	3月末～4月上旬頃	・参加者テストを踏まえた内容、記載事項の明確化などを反映した業務マニュアルおよび実務説明資料の更新版を公表
実需給期間向け機能を利用した業務運用の開始	4月1日予定	・「リクワイアメント・アセスメント・ペナルティ」や「請求・交付」の業務に対応する実需給期間向け機能を利用した業務運用を開始
実務説明会（2024年度第1回目）	4月下旬予定	・参加者テストを踏まえた内容などを反映した更新版の資料を用いて、注意点なども踏まえて実需給期間の実務に関する内容を説明

# 5. 実需給年度に向けた情報提供について

## ①実需給2024年度に向けた提供資料

■ **概要やポイントは説明会資料**でお伝えし、**実務的な詳細についてはマニュアル**で説明している。

主な対象	対象電源、事業者	資料区分	資料名 ※資料名は略称	参照先URL
容量提供事業者	安定電源	業務マニュアル	実需給期間中 リクワイアメント対応(安定電源)編	<a href="https://www.occto.or.jp/market-board/market/jitsujukyukanren/2024_jitsujukyu_kanren.html">https://www.occto.or.jp/market-board/market/jitsujukyukanren/2024_jitsujukyu_kanren.html</a>
	変動電源 (単独)		実需給期間中 リクワイアメント対応(変動電源(単独))編	
	変動電源 (アグリゲート)		実需給期間中 リクワイアメント対応(変動電源(アグリゲート))編	
	発動指令電源		実需給期間中 リクワイアメント対応(発動指令電源)編	
	共通	説明会資料	実需給期間中 ペナルティ・容量確保契約金額対応編	<a href="https://www.occto.or.jp/market-board/market/youryou_setsumeikai.html">https://www.occto.or.jp/market-board/market/youryou_setsumeikai.html</a>
	共通		実務説明会資料(リクワイアメント対応)	
	共通		実務説明会資料(ペナルティ・容量確保契約金額対応)	
共通	容量市場システムマニュアル	容量市場システムマニュアル(実需給期間向け機能)	<a href="https://www.occto.or.jp/market-board/market/youryou-system/200212_youryousystem_kiyaku_manual.html">https://www.occto.or.jp/market-board/market/youryou-system/200212_youryousystem_kiyaku_manual.html</a>	
小売電気事業者等	一般送配電事業者 配電事業者 小売電気事業者	業務マニュアル	容量拠出金対応編	<a href="https://www.occto.or.jp/market-board/market/jitsujukyukanren/2024_jitsujukyu_kanren.html">https://www.occto.or.jp/market-board/market/jitsujukyukanren/2024_jitsujukyu_kanren.html</a>
	共通	説明会資料	容量拠出金説明会資料	<a href="https://www.occto.or.jp/market-board/market/youryou_setsumeikai.html">https://www.occto.or.jp/market-board/market/youryou_setsumeikai.html</a>
	共通	会員情報管理システム取扱マニュアル	会員向け 容量市場関連編	<a href="https://www.occto.or.jp/kaiin/kaiinjoho.html">https://www.occto.or.jp/kaiin/kaiinjoho.html</a>

# 5. 実需給年度に向けた情報提供について

## ②実需給2024年度の請求交付業務の概要

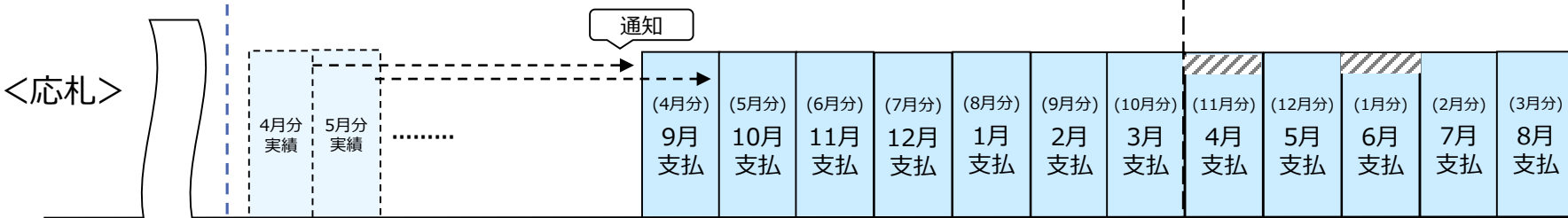
- 小売電気事業者等に対する、4月(N月)分を対象月とした容量拠出金は、7月(N+3月)に請求書が発行される。
- 容量提供事業者に対する、4月(N月)分を対象月とした容量確保契約金額は、9月(N+5月)に支払が行われる。
- **2024年度分の請求や交付の業務運用は、2025年度にかけても行われる。**
- また、**2025年度には年次精算**が行われる。

### <容量拠出金：小売電気事業者等への請求書発行>



年次精算は、  
・経済的ペナルティ  
・容量拠出金の回収額により  
再算定が生じた場合  
等の精算（追加請求・還元）

### <容量確保契約金額：容量提供事業者への支払>



実需給期間前  
↑  
現在

2024年度

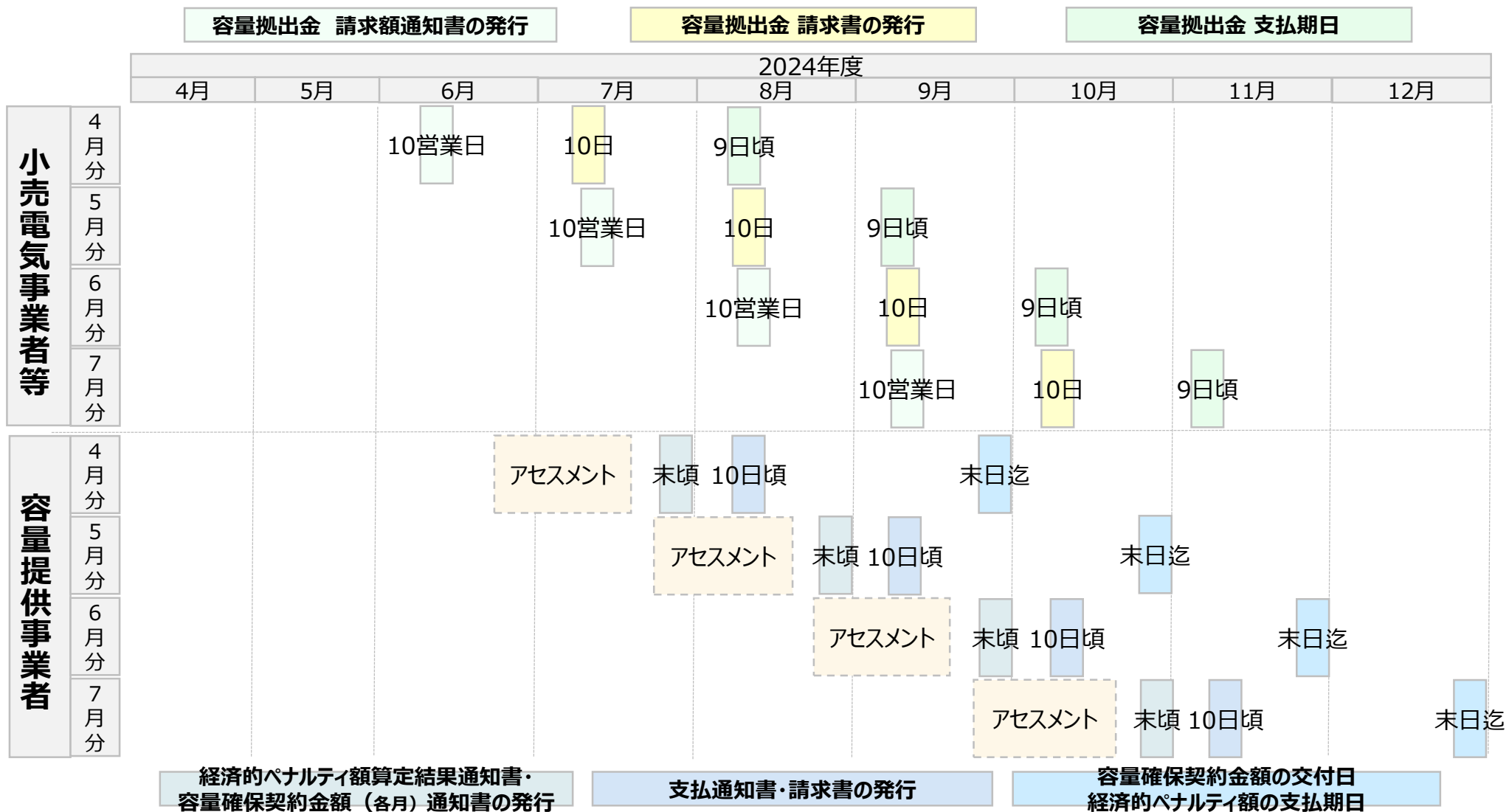
2025年度



# 5. 実需給年度に向けた情報提供について

## ③実需給2024年度の請求交付業務の月次運用イメージ

このあと、実需給期間の小売電気事業者等や容量提供事業者の、**実務的なスケジュール**が以下のイメージで開始される。引き続き**情報提供を進めつつ**、**各事業者と連携しながら対応を進めていく**。



## 5. 実需給年度に向けた情報提供について

### ④制度概要説明会について

- これまで、容量市場の制度の概要について、繰り返し説明会を重ねてきたところ。
- 一方で、各事業者のみなさまには、**初めて容量市場を担当される方**がおられることも想定し、容量市場の制度概要について、今後も説明会を継続的に行っていく。
- **容量市場の仕組みは、小売電気事業者や発電事業者、一般送配電事業者、アグリゲーター等が密接につながっているため、幅広い観点で制度の理解を深めていただくため、各地域の制度概要説明会では対面形式**の開催も行っている。
- 次回の制度概要説明会(対面形式)の開催は4～5月に予定しており、開催会場や日程等は詳細が決まり次第HP等でご案内する。

#### <直近の容量市場の制度概要説明会(対面形式) 開催状況>

会場	開催日	参加事業者数	参加者数
近畿経済産業局	11月29日	31者	43名
北海道経済産業局	11月30日	11者	20名
中国経済産業局	12月4日	17者	28名
四国経済産業局	12月6日	8者	14名
東北経済産業局※	2月9日	16者	24名
	合計	83者	129名



※東北経済産業局による勉強会形式